

古文文法 習熟度テスト④ 解答

名前

1 「らむ」の識別

(1) 「らむ」の識別に関して、識別対象になる3つの内容を答えなさい。(各1点×7)

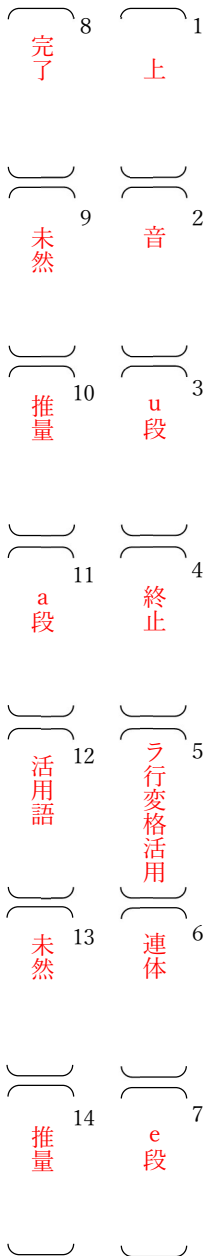
- ① (現在推量) の助動詞「らむ」
- ② (完了) の助動詞「り」の (未然) 形 + (推量) の助動詞「む」
- ③ 「ら」となる (活用語) の (未然) 形 + (推量) の助動詞「む」

(2) 「らむ」の識別に関して、3つの識別対象の見分け方を説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×14)

「らむ」を識別するには、「らむ」の (①) の (②) を確認する。

「らむ」の上が (③) , つまり「らむ」が活用語の (④) 形か (⑤) 動詞の (⑥) 形に接続している場合は、助動詞「らむ」と判断する。また、上が (⑦) の場合には (⑧) の助動詞「り」の (⑨) 形に (⑩) の助動詞「む」が接続していると判断する。

そして、上が (⑪) の場合には (⑫) の (⑬) 形に (⑭) の助動詞「む」が接続していると判断する。



(3) 次の各文の傍線部①～⑦は、次のうちのどれであるか、記号で答えなさい。(各2点×7)

① 知りたることもなほ定かにと**思ひてや問ふらむ**。¹ また、まことに知らぬ人も、**などかなからむ**。²

② 今日よりはじめて三年に満てらむ日の、その明けむ日、掘り出だすべきなり。

③ 何にかあらむ。雀の落として去ぬる物は。

④ 挑むことに勝ちたる、いかでかはうれしからざらむ。

⑤ いかならむと、恐ろしと胸つぶるるに、

⑥ その恨み、ましてやらむかたなし。

- 1
A
- 2
F
- 3
B
- 4
D
- 5
C
- 6
G
- 7
E

G	F	E	D	C	B	A
形容動詞の未然形の一部＋「む」	形容動詞の未然形の一部＋「む」	ラ行四段動詞の未然形語尾＋「む」	ラ変動詞の未然形語尾＋「む」	打消の助動詞の未然形の一部＋「む」	存续・完了の助動詞＋「む」	現在推量・原因理由推量の助動詞

2 助動詞「べし」「まじ」

(1) 助動詞「べし」と「まじ」の接続について、それぞれ説明しなさい。(各2点×2)

「べし」 終止形もしくはラ行変格活用動詞の連体形に接続する。

「まじ」 終止形もしくはラ行変格活用動詞の連体形に接続する。

(2) 「べし」と「まじ」の活用表を完成させなさい。(各1点＋活用表2点×2)

接続			基本形		未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
終止形もしくはラ変の連体形			べし		べく	べく	べし	べき	べけれ	○
終止形もしくはラ変の連体形			まじ		まじく	まじく	まじ	まじき	まじけれ	○
終止形もしくはラ変の連体形			まじ		まじから	まじかり	○	まじかる	○	○

(3) 助動詞「べし」には主に6つの意味がある。その意味と訳し方を、それぞれ答えなさい。(各1点×12)

①意味	推量	訳し方	②意味	意志	訳し方
③意味	可能	訳し方	④意味	当然	訳し方
⑤意味	命令	訳し方	⑥意味	適當	訳し方
		しせよ			しするのがよい
					当然しはずだ
					しよう

(4) 助動詞「べし」の6つの意味の覚え方として、覚えるためのキーワードを答えなさい。(2点)

スイカとめて

(5) 助動詞「べし」の6つの意味を見分けるための手順を説明した、次のいくつかの説明文に関して空欄を埋めなさい。(各1点×9)

①助動詞「べし」の意味は、基本的に(①)する。その際、目安となるのが(②)である。(②)が一人称の場合、「べし」は(③)の意味になることが多く、二人称なら(④)もしくは(⑤)の意味になる。そして、三人称なら(⑥)の意味になることが多い。

文脈判断
主語
意志
命令
適當
推量

②打消・反語の文脈で助動詞「べし」が用いられている場合、(①)の意味になる可能性がある。また、比較・選択の文脈で用いられた場合には、(②)の意味になる。

可能
適當

③助動詞「べし」が、「べき由」のかたちで用いられる場合は、「べき」を（ ）の意味で解釈すれば良い場合がある。

命令

(6)助動詞「まじ」には主に6つの意味がある。その意味と訳し方を、それぞれ答えなさい。(各1点×12)

①意味	打消推量	訳し方	しないだろう
③意味	不可能	訳し方	できない
⑤意味	禁止	訳し方	するな
②意味	打消意志	訳し方	しないつもりだ
④意味	打消当然	訳し方	はずがない
⑥意味	不適當	訳し方	しないほうがよい

(7)助動詞「まじ」の意味を理解するための考え方について説明した、次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×2)

助動詞「まじ」は、助動詞（①）の（②）表現であると考える。

べし¹
打消²

(8)次の各文の傍線部①～⑧の意味を、推量はA、意志はB、当然はC、可能はD、適当・勧誘はE、命令はFの記号で答えなさい。

(各2点×8)

①家の作りやうは、夏をむねとすべし¹。

E

②毎度ただ得失なく、この一矢に定むべし²と思へ。

B

③羽なければ、空をも飛ぶべからず³。

D

④この人々の深き志は、この海にも劣らざるべし。⁴

[A]

⑤人の歌の返し、とくすべきを、えよみ得ぬほど心もとなし。⁵

[C]

⑥我かならず万歳をうたふべし。⁶

[B]

⑦頼朝が首をはねて、わが墓の前に掛くべし。⁷

[F]

⑧今日は日暮れぬ。勝負を決すべからず。⁸

[D]

3 助動詞「まし」

(1)助動詞「まし」が接続する語句の活用形を答えなさい。(2点)

[未然形]

(2)助動詞「まし」の活用表を完成させなさい。(1点+活用表2点)

	接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
未然形		まし	まし ませ	○	まし	まし	まし か	○

(3)助動詞「まし」には主に4つの意味がある。その意味と訳し方を、それぞれ答えなさい。(各1点×8)

①意味

[反実仮想]

[訳し方]

[もしAならば
Bだろうに]

②意味

[ためらいの意志]

[訳し方]

[しようかしら]

③意味

仮想

訳し方

「ならよかった」

④意味

推量

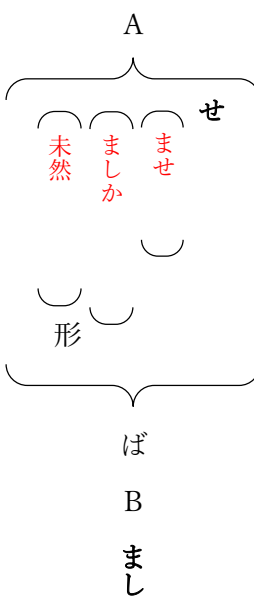
訳し方

「だろう」

(4) 「反実仮想」とは、どういう意味か語句の意味を説明しなさい。(3点)

事実と反することを想定し、仮に想像すること

(5) 助動詞「まし」が反実仮想の意味になる場合のパターンについて、次の空欄を埋めなさい。(各1点×3)



(6) 助動詞「まし」が「反実仮想」の意味になる場合のパターンについて説明した、次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×3)

「せばまし」の「せ」は、(①) の助動詞 (②) の (③) 形である。



(7) 助動詞「まし」が「ためらいの意志」の意味になる場合のパターンについて説明した、次の文章の空欄を埋めなさい。(2点)

() + 「まし」の場合、助動詞「まし」は「ためらいの意志」の意味になる

疑問語

(8) 次の各文を、口語訳しなさい。(各3点×3)

① 世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし

世の中にもしまったく桜がなかったとしたら、春の人の心はのどかだっただろうに

② これに何を書かまし。

これに何を書こうかしら。

③ 鏡に色・形あらましかば、映らざらまし。

もし鏡に色や形があつたとしたら、何も映らないだろうに。

(9) 次の文の意味を考え、実際にはどうであつたからどうだと言いたいのかを説明しなさい。(4点)

わが背子とふたり見ませばいくばくかこの降る雪のうれしからまし

一人で見ているので、降っている雪もつまらないということ

4 2つの「なり」

助動詞には、2つの「なり」がある。この2つの「なり」について説明した次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×11)

助動詞には、2つの「なり」がある。1つは、(①)と(②)を意味する「なり」である。この「なり」は、「(③)＋あり」を語源としており、(④)と活用語の(⑤)形に接続する。

一方、もう1つの「なり」は(⑥)と(⑦)を意味する。こちらの「なり」は、「(⑧)＋あり」を語源としており、活用語の(⑨)形と(⑩)動詞の(⑪)形に接続する。

1 断定
2 存在
3 に
4 体言
5 連体
6 伝聞

7	推定
	音
8	音
	終止
9	終止
	ラ行変格活用
10	ラ行変格活用
	連体
11	連体
	*1と2, 6と7は順不同

5 「なり」の識別

- (1) 「なり」の識別に関して、主に識別対象となる4つの内容を答えなさい。また、「なり」の識別に関して説明したあとの文章の空欄を埋めなさい。(各1点×14)

- ① (ラ行四段活用動詞) の「なる」 ② (形容動詞ナリ活用) の活用語尾
- ③ (断定) , (存在) の助動詞「なり」 ④ (伝聞) , (推定) の助動詞「なり」
- a (なる) と訳せる「なり」は①の活用したものであると判断する。
- b (様子) もしくは (状態) +なり」と読み取れるものは、②であると判断する。
- c (体言) もしくは活用語の (連体) 形+なり」は、③と判断する。
- d 「活用語の (終止) 形、もしくは (ラ行変格活用) 動詞の (連体) 形+なり」は、④と判断する。

- (2) 「なり」の識別について説明した、次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×13)

- ① 「あるなり」のように、「なり」がラ行変格動詞に付く場合、「なり」は (断定) , (存続) の助動詞「なり」の可能性と、 (伝聞) , (推定) の助動詞「なり」の可能性がある。どちらの「なり」であるかは、 (文脈判断) する必要がある。

②「あんなり」，もしくは「あなり」のように「なり」がラ行変格活用動詞の（撥音便）に付く場合，「なり」は（伝聞），
（推定）の助動詞「なり」と判断できる。

③「ななり」，「なめり」の「な」は（断定）の助動詞「なり」の（撥）音便が（無表記）された形である。一方，
「な」の下に「なり」や「めり」は（推定）の助動詞と考える。

④「なり」の下に助動詞「けり」が「詠嘆」の意味で用いられている場合，「なり」は（断定）の助動詞「なり」であると判断できる。

(3) 次の各文の傍線部①～⑨が，伝聞はA，推定はB，断定はC，存在はD，形容動詞の語尾はE，動詞はFの記号で答えなさい。

(各2点×11)

①鳥は，異所のものな¹れど，鸚鵡いとあはれ²なり。
〔C〕〔E〕

②さかりにな³らば，かたちもかぎりなくよく，髪もいみじく長くなり⁴なむ。
〔F〕〔F〕

③男もす⁵なる日記といふものを，女もしてみむとてする⁶なり。
〔A〕〔C〕

④聞けば，侍従の大納言の御女，亡くなり給ひぬ⁷なり。
〔A〕

⑤御前⁸なる人々，一人二人づつ失せて，
〔D〕

⑥たたみをそよそよと踏みて，人⁹来なり。
〔B〕

⑦信濃にあん⁰なる木曾路川。
〔A〕

⑧天の原ふりさけ見れば春日¹なる三笠の山にいでし月かも
〔D〕

6 その他の助動詞

(1)助動詞「めり」と「らし」の接続について、それぞれ説明しなさい。(各2点×2)

- ①「めり」活用語の終止形もしくはラ行変格活用動詞の連体形に接続する。

②「らし」活用語の終止形もしくはラ行変格活用動詞の連体形に接続する。
-

(2)助動詞「めり」、「らし」の活用表を完成させなさい。(1点+活用表2点×2)

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
活用語の終止形もしくはラ変の連体形	めり	○	めり	めり	める	めれ	○
活用語の終止形もしくはラ変の連体形	らし	○	○	らし	らし	らし	○

(3)助動詞「めり」には主に2つの意味がある。その意味と訳し方を、それぞれ答えなさい。(各1点×4)

- ①意味

推定

訳し方

〜ようだ
- ②意味

婉曲

訳し方

〜ような

(4)助動詞「めり」の語源について説明した、次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×2)

助動詞「めり」の語源は(目) + あり」であり、そこから(視覚) 判断による推定を意味するようになった。

(5)助動詞「らし」の意味と訳し方をそれぞれ答えなさい。(各1点×2)

- 意味

推定
- 訳し方

〜らしい

(6) 助動詞「まほし」と「たし」が接続する語句の活用形を、それぞれ答えなさい。(各2点×2)

「まほし」未然形
「たし」連用形

(7) 助動詞「まほし」、「たし」の活用表を完成させなさい。(1点+活用表2点×2)

接続		基本形		未然形		連用形		終止形		連体形		已然形		命令形	
未然形		まほし		まほしく		まほしく		まほし		まほしき		まほしけれ		○	
連用形		たし		たから		たかり		たし		たき		たけれ		○	

(8) 助動詞「まほし」と「たし」の意味と訳し方を、それぞれ答えなさい。(各1点×4)

「まほし」
①意味 希望
訳し方
「たし」
②意味 希望
訳し方

(9) 助動詞「いとし」の接続について説明した、次の文章の空欄を埋めなさい。(各1点×4)

助動詞「いとし」は、(①) や活用語の (②) 形、また助詞の (③) や (④) に接続する。

1 体言
2 連体
3 の
4 が

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
体言・連体形 助詞「の・が」	ごとし	ごとく	ごとく	ごとし	ごとき	○	○

(10) 助動詞「ごとし」の活用表を完成させなさい。(1点＋活用表2点)

(11) 助動詞「ごとし」の意味と訳し方をそれぞれ答えなさい。(各1点×2)

意味	比況	訳し方	ようだ
----	----	-----	-----

(12) 次の各文を、口語訳しなさい。(各3点×2)

① 深山(奥山)には霰降るらし。

奥山では霰が降っているらしい。

② あはれにいひ語らひて泣くめれど、涙落つとも見えず。

しみじみと話し合って泣いているようだが、涙が落ちているとも見えない。

(13) 次の各文の空欄①～⑤に、「たし」、「まほし」のどちらかを適当な活用させて入れなさい。(各2点×5)

① 少しのことにも、先達はあら¹まほしきことなり。

ちよつとしたことにも、指導者はあつてほしいことだ。²

② 敵に逢うてこそ死に²たけれ。悪所に落ちては死に³たからず。
敵に出会つて死にたい。危険な場所に落ちては死にたくない。⁴

③ ただ思ふ事とは、出家ぞし¹たき。
ただ思うことといえば、出家がしたい。

- ④ 人の子産みたるに、男、女、とく聞か⁵
まほし
人が子どもを産んだときは、男か女か、早く聞きたい。

(14) 次の各文の空欄①～③に、「ごとし」を適当な形に活用させて入れなさい。(各2点×3)

- ① おごれる人も久しからず、ただ春の夜の夢の¹
ごとし
おごり高²ぶっている人も長続きしない、まるで春の夜の夢のようだ。
- ② 楊貴妃 ²
ごとき
は、あまり時めき過ぎて、悲しきことあり。
楊貴妃のような人は、あまりにも寵愛されすぎて、悲しいことがある。
- ③ つひに本意の ³
ごとく
あひにけり。
とうとうかねての望みどおり夫婦になった。